

AKAI
professional

EWI | USB
USB ELECTRONIC WIND INSTRUMENT

software by GARRITAN

A R I A

日本語取扱説明書

保証書在中

※ 本取扱説明書巻末にございます。

www.akai-pro.jp

安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク

-  このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。
-  このマークは、適切な電圧で機器を使用しないと、感電の恐れがあるという警告です。
-  このマークは、ご利用の出力コネクタが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

製品をご使用の際は、使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を読んでください。
2. 注意事項を守ってください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むその他の音楽機器など、熱を生じる機器の近くには、置かないでください。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに載せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフター・サービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 本装置をアンプに接続して、ヘッドフォンやスピーカで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
17. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶 飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
18. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。

[WEB] <http://www.akai-pro.jp/>

[MAIL] info@akai-pro.jp

AKAI
professional

<お問い合わせ>

株式会社ニューマークジャパンコーポレーション
カスタマ・サポート部

〒106-0047 東京都港区南麻布 3-19-23
オーク南麻布ビルディング 6F

TEL : 03-6277-2230 FAX : 03-6277-0025

このたびは、AKAI professional「EWI USB」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。この使用説明書には、EWI USBの「使用方法」「注意事項」などが説明されています。EWI USBをご使用になる前に、この使用説明書をよくお読みいただき、正しい取扱方法をご理解いただいた上で、末永くご愛用下さいますようお願い申し上げます。また、使用説明書は必要ときにすぐ取り出せるよう、わかりやすい所に保管することをおすすめします。

<EWI USB 同梱内容>

- EWI USB 本体
- USBケーブル(3m)
- スリンガー
- クリーニング・クロス
- ソフトウェアDVD(「ARIA」インストーラーDVD)
- 取扱説明書(本書)
- 保証書(本書巻末に添付)

第1章 はじめに

EWI USBの特徴

- ・ サキソフォンやクラリネット等の運指の他に、トランペット準拠のEVI運指、オーボエやフルートの運指まで用意されており、あらゆる木管／金管楽器奏者にお楽しみいただけます。
- ・ マウスピースをくわえる強さや吹く息の強さに応じて反応する特殊センサーにより、音程、音質、音量の微妙なコントロールが可能。プレイヤーの表現力を余すことなく伝えます。
- ・ ピッチ・ベンド効果を簡単に得られるタッチ・プレートや5オクターブの音域にわたってシフト可能なオクターブ・ローラーを装備しています。
- ・ タッチ・センス・キーにより、メカニカルなキーでは実現できないような素早い演奏が可能です。
- ・ USBケーブル(本製品付属)で直接パソコンに接続するだけで、本体に電源供給されるバスパワー仕様。また、USBケーブル1本で演奏情報やEWI USB本体の設定をパソコン側とやりとりすることが可能です。
- ・ Garritan社製ソフト音源「ARIA(アリア)」が付属。EWIで演奏可能な様々な種類の木管／金管楽器の高品位サンプル・プレイヤー(スタンドアローン、VST/AU/RTASプラグイン)として使用出来るほか、EWI USBの各センサーの設定をこのソフトから設定する事が可能です。

EWI USBを使う準備として、以下の順番で進めていきましょう！

1. ソフトウェア (ARIA)のインストール

「ARIA(アリア)」は様々な金管／木管楽器の音色を搭載したサンプルプレイヤー／プラグインとしてだけでなく、EWI USB本体にある各センサーの調整やMIDIコントロールチェンジのアサインを設定するために必要です。



2. EWI USBの基本操作

「ARIA」をインストールできたら、次はEWIの基本的な演奏方法と、細かい設定などについてです。



ソフトウェア(ARIA)のインストール

ARIAを使用する前に、お使いのコンピューターが以下の様な条件を満たしているかをご確認下さい。

■ARIAの動作条件

PC :

- 2.8GHz, Pentium 4 / Athlon 4 プロセッサー(もしくははそれ以上)
- Windows 2000(XP もしくは Vista 以上を推奨)
- 1GB以上のRAM(2GB以上推奨)
- 7200回転以上のハードディスクと2GB以上の空き
- DVD-ROMドライブ(インストールに必要)
- 1024 x 768 以上のモニター解像度
- ASIO互換のサウンドカード/オーディオインターフェース

Mac :

- 2.0GHz, Power PC G5もしくはIntel プロセッサー以上推奨
- Mac OS X(10.4以上)
- 1GB以上のRAM(2GB以上推奨)
- 7200回転以上のハードディスクと2GB以上の空き
- 1024 x 768 以上のモニター解像度

■ソフトウェアのインストール

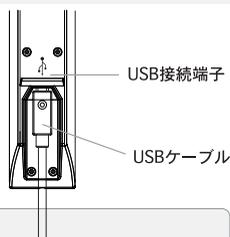
1. お使いのパソコンのDVDドライブに付属のDVD-ROMを入れます。
2. 「SetUp.exe」(Macは「Setup.mpkg」)をダブルクリックし、画面内の案内に従ってインストール作業をすすめていきましょう。
インストールの前には他のアプリケーションを終了させておいて下さい。
3. 一度のインストール作業でARIAの楽器サンプルとアプリケーションの両方がインストールされます。

ドライバーなどはインストール時に自動選択されますので、インストール後に改めてドライバーの追加インストール作業などは必要有りません。

ソフトウェア(ARIA)を起動する

■EWI USBの接続

ソフトウェアを起動する前に、EWIUSB本体のUSB端子とお使いのパソコンのUSB端子をUSBケーブル(本製品と同梱)で接続します。



<重要!> EWI USBをパソコンと接続する際に

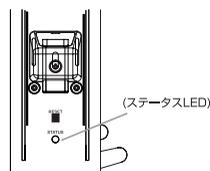
EWI USBは接続時に、ノートキー、オクターブ・ローラー、プレートなどの接触部分を自動的にキャリブレーション(感度の調整)します。その際、上記の金属部品を使用したコントローラー部に触れてしまう事で、正常にキャリブレーションできず、ピッチやセンサー感度の調整不良状態になってしまいます。

EWI USBを接続時はプラグを挿す前に、まず本体先端などのプラスチック部分を手で掴み、金属部に触れないようにしてUSBケーブルを差し込んで下さい。また、キャリブレーション中の数秒間も同様です。

注意:EWI USBの接続は、必ずソフトウェアの起動前に行ってください。ソフト起動後にEWI USBを接続すると、パソコン側あるいはソフトウェア側でEWI USBを認識しない場合があります。

※ USBハブを介してEWI USBを接続した場合、パソコン側から上手く認識されない、正常に動作しないなどの問題が発生する可能性があります。パソコン本体にあるUSB端子へ直接接続する事をお奨めいたします。

キャリブレーションが終わり、正常に接続が開始されるとEWI USB本体にある[STATUS LED]が点灯します。



■ソフトウェア(ARIA)を起動する

1. ソフトのインストール作業が終了しEWIUSBをパソコンと接続できたら、「ARIA」を起動します。

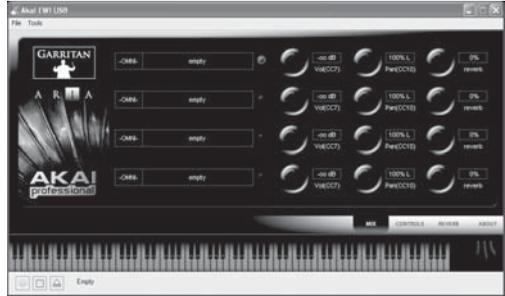
・Windows (XP もしくは Vista)

インストールされたソフトは、「Program files」フォルダの中に見つける事ができるでしょう。デスクトップ上に作成されたショートカットで、あるいは「スタート」メニューの中からも起動することが可能です。

・Mac OS X

「アプリケーション」フォルダの中にインストールされています。

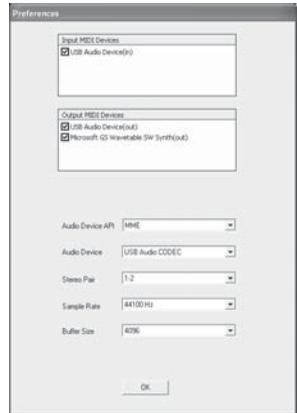
ARIAが起動すると右のような画面になります。(画面はWindows版)この画面がARIAにけるメイン画面となります。



2. 次にソフトウェアがEWI USBを認識するためのデバイス設定を行います。

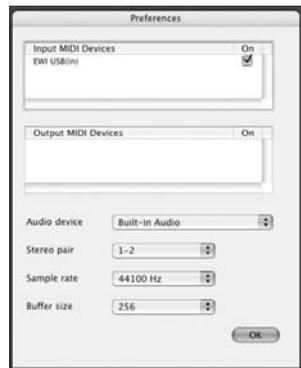
Windows : ARIAのウィンドウ左上にある「Tools」メニューをクリックしてプルダウンしたメニューの中から「Preferences」を選ぶとPreferencesウィンドウが開きます(右図)。

「Input MIDI Devices」に表示される「USB Audio Device(In)」あるいは「EWI USB(in)」と表示された項目の隣にあるチェックボックスにチェックを入れましょう。他、必要に応じて「Audio Devices」や「Output MIDI Devices」の設定を適切な物に設定しましょう。



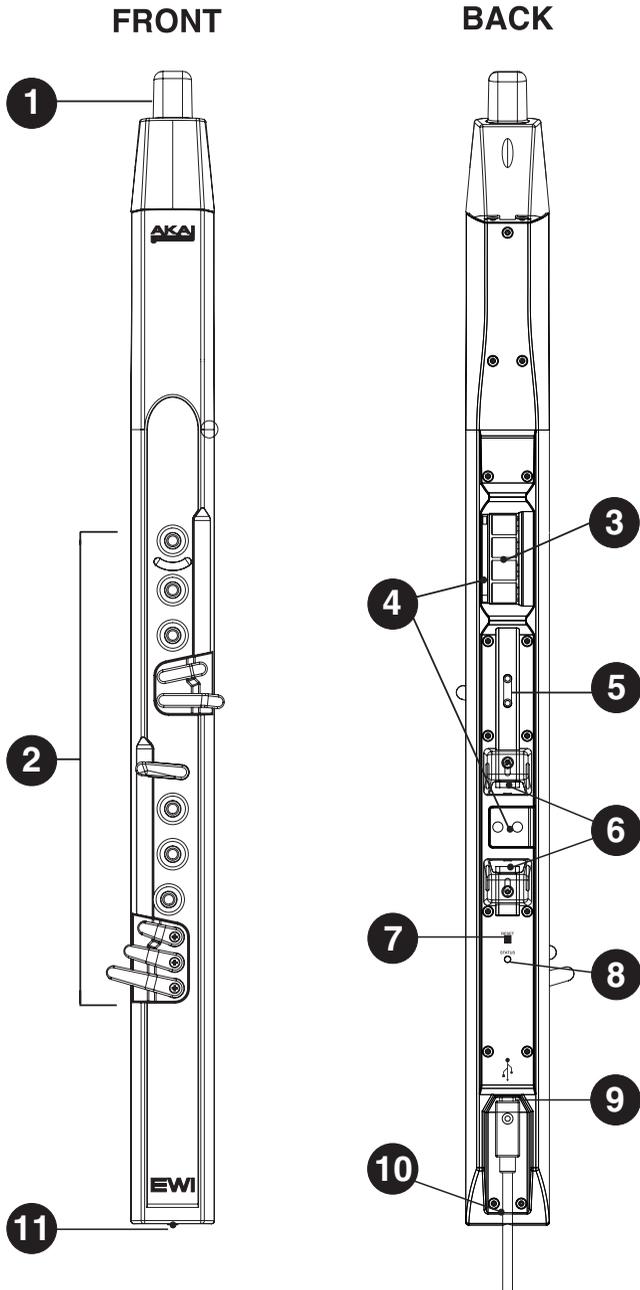
Mac : メニューバーの中から「EWI USB」メニュー(左図参照)をクリックし、プルダウンするメニューの中から「EWI Preferences」を選ぶと「Preferences」ウィンドウが表示されます(右図)。

「Input MIDI Devices」に表示される「EWI USB(in)」と表示された項目の隣にあるチェックボックスにチェックを入れましょう。他、必要に応じて「Audio Devices」や「Output MIDI Devices」の設定を適切な物に設定しましょう。



これでパソコン側の準備は整いました。次はEWI USB本体についてと、実際の演奏方法などについてです。

各部の名称と機能



1. マウスピース

吹き口です。マウスピースの中にはピブラート・センサーが入っていて、マウスピースを噛む事でピブラート効果を得る事ができます。

注意: マウスピースを強く噛み締めると故障の原因になります。

2. ノート・キー

音程を決めるためのタッチセンサ・キーです。下の3つは上部のネジを緩めて調整する事が出来ます。

3. オクターブ・ローラー

演奏範囲のオクターブを決定するセンサーです。演奏中は常にこのローラーに触れている必要があります。

4. アース・プレート

右手用(下部の四角い金属)と左手用(オクターブ・ローラーの横の細長い金属)があり、演奏中はこれらどちらかに常に触れている必要が有ります。

5. スリング・マウント

ここに同梱のスリンガー(ネック・ストラップ)を装着します。

6. ピッチベンド・プレート

演奏時に上部もしくは下部にあるプレートに触ることで音程を上下させる事が出来ます。

7. リセットボタン

このボタンはEWI USBのノートキーのセンサーやコントローラー側の発音不具合が発生した時に押します。このボタンを押すと、EWI USB本体のピッチ情報のリセットと、外部のソフトウェアなどに対し、「オール・ノートオフ」と「リセット・コントローラー」メッセージを送信します。長く押したままにすると、ノートキーと各センサーの再キャリブレーションを行います。再キャリブレーションの際は

EWI USBのプラスチック部分を持ち、金属部分に手が触れない様注意して下さい。

8. ステータスLED (STATUS)

EWI USBとコンピュータが接続されている時に点灯します。

9. USB接続端子

この端子とお使いのコンピュータのUSB端子を同梱のUSBケーブルで接続します。接続するとステータスLEDが点灯します。この接続をする事でEWI USBとコンピュータの間でMIDIデータの送受信を行います。

重要! EWI USBは接続時に、キー、ローラー、プレートなどの接触部分を自動的に再キャリブレーション(感度の再調整)をします。その際、上記のコントローラーなどに触れてしまう事でキャリブレーションの失敗をしてしまい、ピッチやセンサー感度の調整不良状態になってしまいますので、EWI USBを接続時はプラグを挿す前に、本体の先端プラスチック部分を手で掴んだまま、USBケーブルを差し込んで下さい。

ヒント: EWI USBが静電気の影響などによる誤動作を起こしたときは、一度EWI USBからUSBケーブルを抜き、もう一度挿し直して下さい。

ヒント: USBハブ等を介してEWI USBを接続し、上手く認識されない、または正常に動作しないなどの問題が発生する可能性があります。EWI USBはパソコン本体のUSB端子へ直接接続する事をお奨めいたします。

10. USBケーブルクリップ

EWI USBに接続したUSBケーブルが演奏中抜け受け落ちない様このクリップで留めます。

11. ブレス排出口

マウスピースに吹き込まれた息は内部の管を通してEWI USB本体最下部にあるこの穴から排出されます。演奏中はこの穴をふさいでしまわないよう注意しましょう。

第2章 基本操作

EWI USBについて

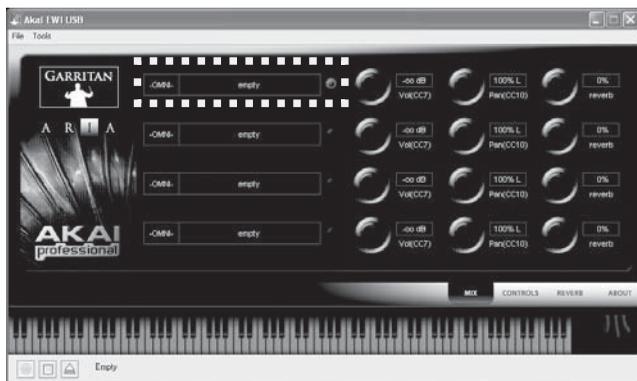
EWI USBは木管／金管楽器タイプのUSBコントローラーです。EWI USBをパソコンに接続し、ソフトウェア音源や、接続された外部MIDI音源を演奏させることで、アコースティックな楽器に劣らぬ豊かな表現力と、電子楽器ならではの特性(たとえば広い音域やバラエティーに富んだ音色による表現etc.)を兼ね備えています。EWI USBは専用のソフトをインストールし、お手持ちのパソコンのUSB端子に接続するだけですぐに演奏を始めることができます。ただし、細かなニュアンスやダイナミックな演奏を正確に表現するためには、EWI USBの機能を理解した上で演奏する方が、よりいっそう表現力豊かな演奏が可能となります。また、人によっては息を吹き込む強さにも差がありますが、センサーの感度を調整(付属のソフト「ARIA」から行います)することで、各自にあわせた設定を行うことも重要です。

まずは「基本的な奏法」をお読みいただいたうえで、実際の演奏にトライしてみてください。

ARIAで演奏する音色を選ぶ

まずは演奏したい音色を選びましょう。

ARIAが起動し、下図中の太点線で囲まれた位置をクリックすることで音色選択のメニューがあらわれます。何も選択されていない状態では「Empty」と表示されます。



音色を選択するフィールドの横にある3つのノブは、左から順に「音量」、「パン(左右の定位)」、「リバーブの適応量」です。

基本的な奏法

EWI USBの基本的な奏法を理解した上で実際の演奏に入りましょう。

持ち方

EWIはタッチセンサ方式のキーを採用しているため、速いパッセージを演奏するには大変有利ですが、通常の管楽器のようなキーアクションが無いいため、軽く指でキーに触れただけでそのキーの音が出ます。EWIを持つ時は指を自由に動かせるように、必ずスリンガーを使用してください。

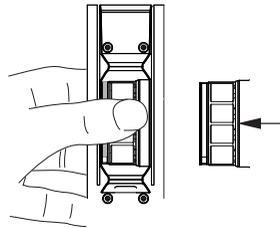


ノート・キーの操作について

基本的にはサキソフォンやクラリネットなど、木管楽器と同様の運指(EWI標準の運指)で演奏することができます。EWI USBではこのEWI運指の他に、トランペット準拠のEVI運指、フルート、そしてオーボエの運指モードも可能です。運指モードの変更については11ページ「運指モードを変更する」を、各運指表については14ページを参考にしてください。また、EWI USBではアコースティック楽器では実現できないような様々な替指を使うことができます。運指表を参考に自分流の替指を開発するのも面白いかもしれません。

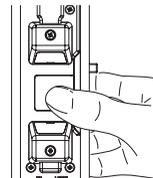
■オクターブ・ローラー(左手)

ローラーとローラーの間に左手親指を置き、二つのローラーに常に触れている状態で使用します。基本となるのは4つあるローラーの中央2つです。



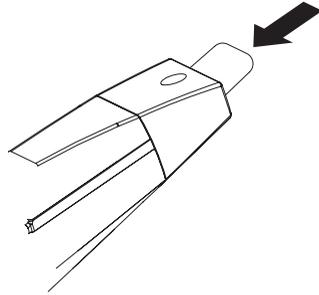
■アース・プレート(右手)

アース・プレートはこの右手用と前述の左手用で2カ所あります。常にどちらか一方に触っている必要があります。



■マウスピース

軽く噛むようにくわえ、口の両端から息を抜くように吹いてください。EWI USBではプレス・センサーに加わる圧力を検知して音の強弱や音色の変化を表現します。そのため、大量の息がコントローラーの管の中を抜けなくなっているのをこのような独特な吹き方をします。また、ロングトーンの場合は口の両端から抜く息の量を減らしてやることで、少ない息で音をのばし続けることができます。このように、フレーズによって吹き方を替えたりすることで、表現力豊かな演奏ができるようになります。慣れないうちは難しく感じるかもしれませんが、練習を重ねるうちに自然とコントロールできるようになります。



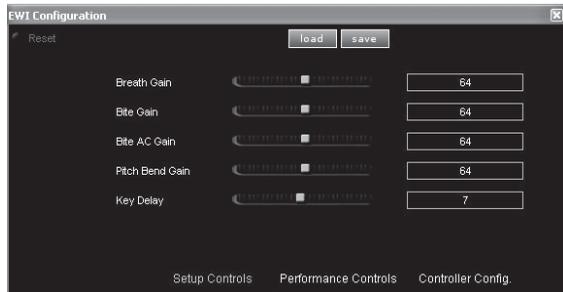
■ビブラート

マウスピースの中にはビブラート・センサーが入っていて、マウスピースをリズムよく噛むことで、ビブラート(音を揺らす)効果を得ることができます。ただし、その効果は「軽く噛む」だけでも十分に得られます。力を入れて強く噛む必要はありません。強い力で噛みすぎるとマウスピースやセンサーをいためてしまいますので注意してください。

■タンギング

口の両端から息を抜きながら、口で「トゥットゥットゥ」とか「トゥクトゥク」という感じで吹くことによって、いわゆるタンギングを行うことができます。

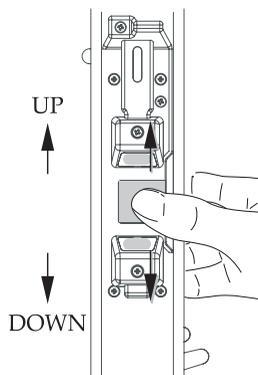
* プレス・センサー感度調整で多少ニュアンスが変わってきますので、いろいろ試してください。センサーの調整は「ARIA」を起動し、画面内の「EWI Configuration」メニュー中(Setup Controlタブ)の「Breath Gain」のパラメーターで行います。



■ベンド

ベンドアップ/ダウン・プレートに右手親指を触れる(アース・プレートにも同時に触れておく)ことによりピッチ・ベンド効果(音程のアップ/ダウン)を得ることができます。アース・プレートを触っている右手親指を上下にスライドさせるように動かします。

ヒント: ベンドに慣れるまでは、ベンドアップ/ダウン・プレートに無意識に触れてしまうことがありますので注意してください。ベンドセンサーはねじを緩めて、位置を調整することができます。



運指モードを選ぶ

EWI USBでは様々な運指モードを用意しています。通常EWIモードが選択されていますが、他の運指モードに変更することができます。ARIAを起動し、画面内の「EWI Configuration」メニュー中から「Performance Controls」タブを選び、その中の「Fingering」パラメータをクリックして設定します。(運指表は14ページをご覧ください。)

「ARIA」についての詳細

付属のサンプルプレイヤー & エディター「ARIA」のパラメータに関する詳細は、本製品付属の英文マニュアルも合わせてご参照下さい。また、弊社AKAI professional国内サイトに、「ARIA」についてわかりやすく記載されたPDFガイドを用意する予定ですので、是非こちらへもアクセスしていただき、合わせてご参照下さい。



アカイ・プロフェッショナル 国内webサイト
<http://www.akai-pro.jp>

第3章 メンテナンスとケア

EWI USBを演奏／操作する上での注意点

- ・ マウスピースは常に清潔に保ちましょう。EWI USBのマウスピースは、演奏者の口腔内に直接触れますので、演奏中および演奏前後の衛生管理には十分に気を配ってください。表面を消毒用アルコールなどで洗浄して下さい。
- ・ EWI USBの演奏に使用するパーツのいくつかは金属で出来ています。演奏時に正常な動作をさせるためにも、金属部分は常に清潔で乾燥した状態を保ってください。演奏後には乾いた柔らかい布でノートキー、ピッチバンド・プレート、アースプレート、およびオクターブ・ローラーを拭いてください。(長年の使用において、人の手からの油分が金属部品をわずかに曇らせるかもしれませんが、これは、金属部品に置ける正常な経年劣化であり演奏にも特に大きな問題とはなりません。)
- ・ マウス・ピースにはビブラート・センサーが内蔵されていますので、演奏中にマウスピースを圧迫する場合、必要以上の力でかみしめないでください。
- ・ マウス・ピースを必要以上に変形させると故障の原因になります。使用後や持ち運びの際には、付属のマウス・ピース・キャップをご使用下さい。
- ・ 常に<アース・プレート>と<オクターブ・シフト・ローラー>にタッチしながらプレイ、および音作りをしてください。EWI USBの各「タッチセンサー」は、演奏者のボディ・アースによって動作します。

センサー感度の再調整 (リキャリブレーション)

1. EWI USBのプラスチック部分を掴みます。その際、金属部分には触れないで下さい。
2. [RESET]ボタンを押し続けます。
5秒後にSTATUS LEDが素早く点滅を開始します。
3. STATUS LEDの点滅が終わったら[RESET]ボタンを離します。

故障かな？と思う前に。

・USBケーブルを差し込んでもLEDが点灯しない。

原因：EWI USBが本体もしくはパソコン側に正常に差し込まれていない

対応：パソコン側とEWI USB本体両方のUSBケーブルが正しく接続されているかを確認し、パソコンを再起動してみましょう。USBまた、EWI USBは「USBバスパワー」で動作しますので、パソコン側の電源が投入されていないければEWI USB本体にも電源は供給されない仕組みとなっております。

・アプリケーションがEWI USBを認識しない。

原因1：アプリケーションのが起動してからEWI USBを接続した。

対応：アプリケーションを一度終了し、もう一度起動してみましょう。

原因2：EWI USBがUSBハブを介して接続されている。

対応：USBハブには接続せずに、直接パソコン本体のUSB端子へ接続し、アプリケーションを起動してみましょう。

・EWI USBを吹いても音が出ない。

原因1：お使いのコンピューター、もしくは接続されたスピーカーやヘッドフォンなどの出力機器のボリューム設定が「0」になっている、もしくは低い設定にしている。

対応：出力機器のボリュームやボリュームに関する設定を上げましょう。

原因2：EWI USBからのMIDIデータが、正しくアプリケーションに入ってきていない。

対応：各自お使いのアプリケーションにおいて「MIDI入力」に関する設定でEWI USBが正しく認識されているかをまず確認しましょう。

付属のソフト「ARIA」での場合、「Tool」メニューをクリックして表示される「Preferences」ウィンドウ中の「MIDI Input Devices」項目の中に下記のように表示されます。

Windows XPの場合：「USB Audio Device」と表示されているでしょう。

Mac OS X/Windows Vistaの場合：「EWI USB」と表示されます。

・音が鳴りっぱなしになる

原因1：ノートキーの調整不良

対応：ノートキーを含め金属部分のセンサーを再キャリブレーションする必要があります。

原因2：接続先の音源アプリケーション側に問題がある場合

対応：アプリケーションを一度終了し、もう一度起動してみましょう。(USBケーブルは接続したままでかまいません)

・ノートキーやオクターブ・ローラー、アースプレートが反応しない。

原因1：センサー部分の調整不良

対応：ノートキーを含め金属部分のセンサーを再キャリブレーションする必要があります。

また、感度不良はごくまれにボディアースなどが原因(裸足での演奏なども考えられます)の場合もあります。手が極端に乾いている場合は、ハンドクリームなどで手を湿らせて下さい。

・ノートキーどおりの音階にならない

原因1：ノートキーの調整不良

対応：ノートキーを含め金属部分のセンサーを再キャリブレーションする必要があります。

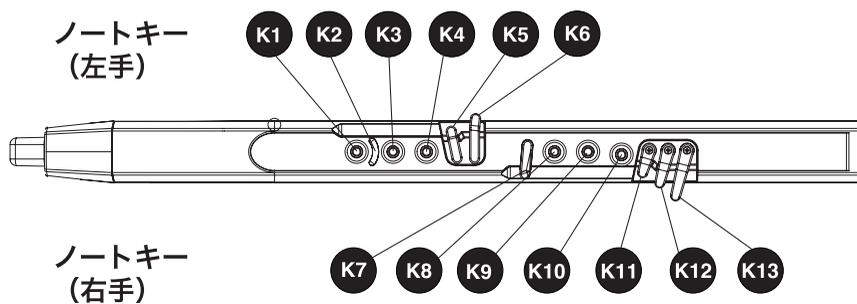
原因2：演奏している運指とEWI USBの運指モードが合っていない

対応：付属のソフト「ARIA」を起動し、運指モードを設定して下さい。

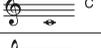
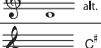
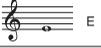
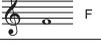
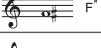
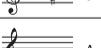
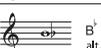
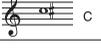
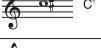
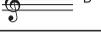
ARIAを起動後にメニューから「EWI Configuration」を選び設定します。

第4章 EWI USB 運指表

■ノートキー・ダイアグラム



EWI

NOTE	NOTE KEYS (LEFT)							NOTE KEYS (RIGHT)							OCTAVE SHIFT ROLLERS
	K1	K2	K3	K4	K5	K6	K7	K8	K9	K10	K11	K12	K13		
 B ^b	●	◡	●	●	◻	◻	◻	●	●	●	◻	◻	◻	 UP 0 DOWN	
 B	●	◡	●	●	◻	◻	◻	●	●	●	◻	◻	◻		
 B alt.	●	◡	●	●	◻	◻	◻	●	●	●	◻	◻	◻		
 C	●	◡	●	●	◻	◻	◻	●	●	●	◻	◻	◻		
 C alt.	●	◡	●	●	◻	◻	◻	●	●	●	◻	◻	◻		
 C [#]	●	◡	●	●	◻	◻	◻	●	●	●	◻	◻	◻		
 C [#] alt.	●	◡	●	●	◻	◻	◻	●	●	●	◻	◻	◻		
 D	●	◡	●	●	◻	◻	◻	●	●	●	◻	◻	◻		
 D [#]	●	◡	●	●	◻	◻	◻	●	●	●	◻	◻	◻		
 E	●	◡	●	●	◻	◻	◻	●	●	○	◻	◻	◻		
 F	●	◡	●	●	◻	◻	◻	●	○	○	◻	◻	◻		
 F [#]	●	◡	●	●	◻	◻	◻	○	●	○	◻	◻	◻		
 G	●	◡	●	●	◻	◻	◻	○	○	○	◻	◻	◻		
 G [#]	●	◡	●	●	◻	◻	◻	○	○	○	◻	◻	◻		
 A	●	◡	●	○	◻	◻	◻	○	○	○	◻	◻	◻		
 B ^b	●	◡	●	○	◻	◻	◻	○	○	○	◻	◻	◻		
 B ^b alt.	●	◡	○	○	◻	◻	◻	●	○	○	◻	◻	◻		
 B ^b alt.	●	◡	○	○	◻	◻	◻	○	○	○	◻	◻	◻		
 B	●	◡	○	○	◻	◻	◻	○	○	○	◻	◻	◻		
 C	○	◡	●	○	◻	◻	◻	○	○	○	◻	◻	◻		
 C [#]	○	◡	○	○	◻	◻	◻	○	○	○	◻	◻	◻		
 D	○	◡	○	○	◻	◻	◻	◻	○	○	○	◻	◻		

フルート

NOTE	NOTE KEYS (LEFT)						NOTE KEYS (RIGHT)							OCTAVE SHIFT ROLLERS	
	K1	K2	K3	K4	K5	K6	K7	K8	K9	K10	K11	K12	K13		
 C	●	☺	●	●	○	○	○	●	●	●	○	○	▬	 UP 0 DOWN	
 C [♯]	●	☺	●	●	○	○	○	●	●	●	○	▬	○		
 D	●	☺	●	●	○	○	○	●	●	●	○	○	○		
 D [♯]	●	☺	●	●	○	○	○	●	●	●	▬	○	○		
 E	●	☺	●	●	○	○	○	●	●	○	○	○	○		
 F	●	☺	●	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○		
 F [♯]	●	☺	●	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○		
 F [♯] _{alt.}	●	☺	●	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○		
 G	●	☺	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
 G [♯]	●	☺	●	●	▬	○	○	○	○	○	○	○	○		
 A	●	☺	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
 A _{alt.}	●	☺	○	○	▬	○	○	○	○	○	○	○	○		
 B [♭]	●	☺	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○		If any 1 or more of the K7, K8, or K9 keys are pressed, the note should stay B.
 B [♭] _{alt.}	●	☺	○	○	○	▬	○	○	○	○	○	○	○		
 B	●	☺	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		This is the only non-flute fingering that flute players will need to get used to.
 C	○	☺	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
 C [♯]	○	☺	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

オーボエ

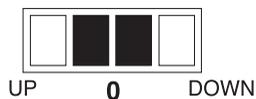
NOTE	NOTE KEYS (LEFT)						NOTE KEYS (RIGHT)						OCTAVE SHIFT ROLLERS	
	K1	K2	K3	K4	K5	K6	K7	K8	K9	K10	K11	K12		K13
 B ^b	●	☺	●	●	○	▬	○	●	●	●	▬	○	○	
 B	●	☺	●	●	▬	○	○	●	●	▬	○	○		
 C	●	☺	●	○	○	○	○	●	●	▬	○	○		
 C [#]	●	☺	●	○	○	○	○	●	●	○	▬	○		
 D	●	☺	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○		
 D [#]	●	☺	●	○	○	○	○	●	●	○	○	▬		
 D [#] alt.	●	☺	●	○	▬	○	○	●	●	○	○	○		
 E	●	☺	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○		
 F	●	☺	●	○	○	▬	○	●	○	○	○	○		
 F alt.	●	☺	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○		
 F alt.	●	☺	●	○	▬	○	○	●	○	○	○	○		
 F [#]	●	☺	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○		
 G	●	☺	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
 G [#]	●	☺	●	○	▬	○	○	○	○	○	○	○		
 G [#] alt.	●	☺	●	○	○	▬	○	○	○	○	○	○		
 A	●	☺	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
 B ^b	●	☺	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○		
 B	●	☺	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
 C	●	☺	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○		
 C [#]	●	☺	●	○	○	○	○	●	●	○	▬	○		
 C [#] alt.	●	☺	○	○	▬	○	○	●	○	○	○	○		
 D	●	☺	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○		
 D [#]	●	☺	●	○	○	○	○	●	●	○	○	▬		
 D [#] alt.	●	☺	●	○	▬	○	○	●	●	○	○	○		

EVI

NOTE	NOTE KEYS (LEFT)						NOTE KEYS (RIGHT)						OCTAVE SHIFT ROLLERS	
	K1	K2	K3	K4	K5	K6	K7	K8	K9	K10	K11	K12		K13
C ⁴	●	☺	●	●	○	○	○	●	●	●	○	○	○	
D	●	☺	●	●	○	○	○	●	○	●	○	○	○	
D [♯]	●	☺	●	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	
E	●	☺	●	●	○	○	○	●	●	○	○	○	○	
F	●	☺	●	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	
F [♯]	●	☺	●	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	
G	●	☺	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
G [♯]	○	☺	●	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	
A	○	☺	●	●	○	○	○	●	●	○	○	○	○	
A [♯]	○	☺	●	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	
B	○	☺	●	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	
C	○	☺	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

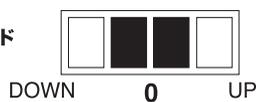
オクターブ・ローラー "Eu" モード

オクターブ・ローラーの動作は他と同じ



オクターブ・ローラー "Er" モード

オクターブ・ローラーの動作が反転します。



MIDI インプリメンテーション・チャート

Manufacturer: AKAI PROFESSIONAL	Model: EWI USB	Version: 1.00	Date: 07.01.2008
	Transmit/Export	Recognize/Import	Remarks
1. Basic Information			
MIDI channels	1-16	1-16	
Note numbers	047-075	N	
Program change	N	N	
Bank Select response? (Yes/No) If yes, list banks utilized in remarks column	N	N	
Modes supported: Mode 1: Omni-On, Poly (Yes/No) Mode 2: Omni-On, Mono (Yes/No) Mode 3: Omni-Off, Poly (Yes/No) Mode 4: Omni-Off, Mono (Yes/No) Multi Mode (Yes/No)	N	N	
Note-On Velocity (Yes/No)	Y	N	
Note-Off Velocity (Yes/No)	N	N	
Channel Aftertouch (Yes/No)	Y	N	
Poly (Key) Aftertouch (Yes/No)	Y	N	
Pitch Bend (Yes/No)	Y	N	
Active Sensing (Yes/No)	N	N	
System Reset (Yes/No)	Y	Y	
Tune Request (Yes/No)	N	N	
Universal System Exclusive: Sample Dump Standard (Yes/No) Device Inquiry (Yes/No) File Dump (Yes/No) MIDI Tuning (Yes/No) Master Volume (Yes/No) Master Balance (Yes/No) Notation Information (Yes/No) Turn GM1 System On (Yes/No) Turn GM2 System On (Yes/No) Turn GM System Off (Yes/No) DLS-1 (Yes/No) File Reference (Yes/No) Controller Destination (Yes/No) Key-based Instrument Ctrl (Yes/No) Master Fine/Coarse Tune (Yes/No) Other Universal System Exclusive	Y	Y	Used for software configuration
Manufacturer or Non-Commercial System Exclusive	Y	Y	Used for software configuration
NRPNs (Yes/No)	Y	Y	Used for software configuration
RPN 00 (Pitch Bend Sensitivity) (Yes/No) RPN 01 (Channel Fine Tune) (Yes/No) RPN 02 (Channel Coarse Tune) (Yes/No) RPN 03 (Tuning Program Select) (Yes/No) RPN 04 (Tuning Bank Select) (Yes/No) RPN 05 (Modulation Depth Range) (Yes/No)	N	N	
2. MIDI Timing and Synchronization			
MIDI Clock (Yes/No)	N	N	
Song Position Pointer (Yes/No)	N	N	
Song Select (Yes/No)	N	N	
Start (Yes/No) Continue (Yes/No) Stop (Yes/No)	N	N	
MIDI Time Code (Yes/No)	N	N	
MIDI Machine Control (Yes/No)	N	N	
MIDI Show Control (Yes/No) If yes, MSC Level supported	N	N	
3. Extensions Compatibility			
General MIDI compatible? (Level(s)/No) Is GM default power-up mode? (Level/No)	N	N	
DLS compatible? (Levels(s)/No) (DLS File Type(s)/No)	N	N	
Standard MIDI Files (Type(s)/No)	N	N	
XMF Files (Type(s)/No)	N	N	
SP-MIDI compatible? (Yes/No)	N	N	

仕様

Dimensions (W x D x H)	23 1/8" x 2 3/4" x 2 3/4"
Weight	1.3 lbs
Power	~100mA, 5V via USB
MIDI output channels over USB	1
Note keys	13
Octave rollers	2 mobile, 2 fixed; 5-octave range
Plates	2 ground, 2 bend
Terminals	Slave connector x 1 (MIDI over USB)
Accessories	USB cable (3m) Neckstrap Cleaning cloth Software DVD Quickstart Manual

MEMO



www.akai-pro.jp